

会 議 録（議事要旨）

会議名	平成 29 年度 第 1 回三豊市公民館基本計画検討委員会
開催日時	平成 29 年 7 月 4 日 13:30～15:30
開催場所	三豊市危機管理センター2F
出席委員	清國祐二、岩倉道夫、西村忠臣、佐藤响一、河田紀夫 上村正徳、久保しげり、岩本高明、片桐正文、神原道央、森伸男 大高信晶、大方仁司、香川秋訓、大西貢、小玉友良、西山弘茂、甲野 里美
欠席委員	細川武司、森田浩文、詫間政司、西川正明、中西渉、中野 雅俊
教育委員会事務局関係職員	岡根教育長 前川教育部長 生涯学習課 三倉課長、開口課長補佐、篠原 (委託業者) (株)ぎょうせい (2名)
傍聴者	非公開
議題	1.開会 2.委嘱状公布 3.挨拶：教育長（挨拶後、退席） 4.自己紹介 5.委員長、副委員長の選任 ：清國委員長（香川大学）、神原副委員長（豊中公民館） 6.議事 (1) 基本の計画事項について (2) 公民館基本方針について 7.その他 8.閉会
配布資料	資料 1 「三豊市公民館基本計画（たたき台）」 資料 2 「利用者アンケート調査の概要」 三豊市公民館基本計画検討委員会要綱，委員会名簿 広報みとよ 7 月号

【議事要旨】

■議題 (1) 基本の計画事項について

：「三豊市公民館基本計画（たたき台）」の第1章を委託業者から説明。

：「利用者アンケート調査の概要」を事務局から説明。

（アンケートに関する議事要旨）

委員：アンケートを多く集めるのであれば7月末期限は難しい。8月まで延ばせないか。

委員長：計画策定の基礎資料として、次の会議に間に合わせる意図であろう。

委員：自主的なクラブ講座、2ヶ月1回の出席もあり、期間が1ヵ月では集めがたい。

委員：アンケート内容の説明を聞きたい。

事務局：問3：公民館活動への参加意向。問4：公民館活動に期待する内容。問5：公民館活動の主体者としての参加意向。問6：公民館活動への様々な意見を把握する。

委員：アンケート対象者が公民館に頻繁に来ている方だけが対象になるが、よいのか。

委員長：生涯学習計画で実施した市民アンケートで利用していない方の傾向は把握できる。公民館により深く関わっている市民の意見を活かす主旨と理解する。

委員：分館の意見を大切にしたい。アンケートは分館を含むのか。

委員：利用者は年配が多いが、若年の意見も聞きたい。アンケートに年齢、性別を追加してはどうか。

事務局：意見は十分に聞きたいので、アンケートは地区館、分館を含めて対象とする。回答期限は第1回収を7月末、第2回収を8月末とする。アンケート設問に年齢、性別も加える。

（公民館活動、公民館施設のあり方に関する議事要旨）

委員：分館や地区館を集約する考えがあるのか。

委員：市民力とは何か。そんなことはないと考えているが、行政の言い訳にも聞こえる。行政がしっかり取り組むことが必要である。

委員：学校との連携はどう考えるか。

委員長：国の方針は学校と地域の垣根を低くし、交流や連携を促進させている。ただし、学校は管理職の考え方が大きく影響するケースがある。

委員：三豊市の連帯感を高めるものが公民館活動である。

委員：公民館活動という「ソフト」の充実がまさに重要になる。詫間は施設の有効利用をできている。

委員：合併したとはいえ、明治合併の名残も未だに残っている。いつまでも旧町が残るような公民館の体制でよいのか。

委員長：各地区の誇りを大切にしながら、市全体の連帯感を高めることが重要になる。

事務局：独自性を大事にしつつ、一方で施設の耐用年数も考慮して統合も検討しなければならない。

■議題（2）公民館基本方針について

：時間の関係で、次回の協議とする。

事務局：次回開催前に各委員の意見を伺いたいので、意見シートを配付するので協力願いたい。

回答期限は7月末としたい。

委員長：次回も公民館が良くなる意見をいただきたい。

■その他

事務局：次回8月29日(火)は行事と重複するため、8月28日(月)13:30に変更する。

■閉会挨拶

副委員長：公民館は70年の歴史もあり、今の手法を変えるつもりはない。しかしながら、より良い活動に向けて、この計画が策定されれば、活動マニュアルとして参考になる。

■閉会（15：30）